

JUDGE 審査員



株式会社ウェイビー
代表取締役社長
伊藤健太氏



新潟ベンチャーキャピタル株式会社
代表取締役社長
永瀬俊彦氏



株式会社ペライチ
創業者 取締役会長
山下翔一氏



公益社団法人日本プロサッカーリーグ
社会連携本部社会連携部 部長
鈴木順氏

PROGRAM コンテストの流れ

12:30 -	開場
13:00 -	ピッチ（起業家 12 名によるプレゼンテーション）
16:00 -	結果発表
16:30 -	交流会

INACOME では農山漁村の起業家のための
Web プラットフォームを設置しているので、ぜひご加入ください。



- ビジネスマッチング
- 経営相談
- PR
- コネクション
- 情報交流
- 資金調達

問合せ先

農林水産省大臣官房政策課
担当者：島田、葛井
代表：03-3502-8111（内線 3088）
ダイヤルイン：03-3502-6565
FAX 番号：03-3508-4080

株式会社ウェイビー（事務運営会社）
担当者：桃井
代表：03-5216-2121
FAX 番号：03-5216-2888

INACOME

農林水産省



農林水産省が仕掛ける農山漁村の起業促進

INACOME BUSINESS CONTEST 2020.2.15

OPEN 12:30 START 13:00-

会場 農林水産省講堂

（東京・霞ヶ関）

農山漁村地域の起業に、チカラを
そのビジネスプランに、ヒカリを



inacome.jp

検索

農林水産省が運営する
プラットフォームです。
登録料・利用料は一切かかりません。

主催 農林水産省

運営会社 株式会社ウェイビー

ABOUT INACOME イナカムの概要

農山漁村地域が活力を取り戻し、持続的な発展を実現するためには、
なによりもまず地域に雇用と所得を生み出すことが重要です。

農山漁村には魅力的な資源が豊富にあり、
これを活用した多様な事業を起こすチャンスに溢れています。
農林水産省では、この豊かな資源を活用した新たなビジネスの創出を促すため、
地域の資源と人材そして資金を組み合わせる起業支援プログラム『INACOME』を実施しています。

FINALIST 登壇者 (五十音順)



「地域のマイナスをプラス資源に！～獣害対策サステナブルモデル～」
くまもと☆農家ハンターは、約 100 名の若手農家が「地域と畑は自分たちで守る」をモットーに鳥獣被害対策を行う取組です。安心安全なジビエはもちろん、オーガニックペットフード、革製品、そして肥料として畑に還元することで世界初のサステナブルな獣害対策のモデルを確立したいと考えています。

井上 拓哉 < 熊本県宇城市 >



「魚の売り手と買い手を繋げるプラットフォーム”マリニティ”」
魚の売り手が持つ情報と買い手のニーズをクラウド化し、水産物の取引を効率化するプラットフォーム「マリニティ」を構築しています。マリニティのロゴである四面体は、点と点を繋げて線を作りその線で面を形成していく、そんな存在でありたいという思いを込めております。

井口 剛志 < 福岡県福岡市 >



「農の入口と出口づくりで就農者を増やす！畑と人を繋ぐ「たんとスープ」で 6 次産業化」
就農者を増やし、経済だけでない新しい価値を生み出すことを理念とし大阪府・京都府で農場運営。人と地球の健康を考えながら、6 次産業化として農家直営スープ専門店「たんとスープ」の多店舗展開に挑戦するとともに、IoT 土壌センサーや堆肥研究のデータを活用することで就農者の増加を目指します。

大西 千晶 < 京都府南丹市・大阪府箕面市 >



「-EAT HERITAGE- 伝統食で世界を健康に」
地域の伝統食に特化した観光マッチングプラットフォーム。ムスリム・ヒンズー等の宗教上の戒律、菜食主義、糖尿病などの要因で『食に制約のある旅行者』に対して、発酵食・精進料理など『地域に眠る伝統食』及び農泊・宿坊など『食文化体験』を紹介、コンシェルジュによるサポートを通じて最適な食体験を提供しています。

奥田 将大 < 新潟県 南魚沼郡 湯沢町 >



海の神秘！ロマンの体験！広田湾海中熟成プロジェクト
海の神秘とも言える海中熟成をきっかけに、漁業や農業をはじめとする様々な地域資源を活用した体験型の観光サービスと、広田湾産海産物の販売による地域に経済効果を循環させる取組を行なっています。市内全域を元気にするプロジェクトで、みんなに喜んで頂くため精一杯臨みます！

鍛冶川 直広 < 岩手県陸前高田市 >



「木を伐らない林業 林業 2.0 を人吉球磨から」
林業の本質は「森林がお金を生んでいること」だと考えた時、森林を木材の母体として考えるのではなく、森林そのものが価値の母体になり得ます。そこで私たちは、森林の中にツリーハウスのようなオフィスやミーティングルームをつくり、「TREE OFFICE」という新しい働き方・新しい林業の形を提案します。

坂口 祐貴 < 熊本県人吉市 >



「AI 活用の自動収穫ロボットで収益最大化」
AI を活用した農業収穫ロボットを開発し、収集するデータを分析・活用して、農家の収益を最大化します。収穫に特化した農業ロボットを農家にレンタルし、人手不足を解消することで、農家の収益を向上させ、きつい・儲からない農業から、楽しい・儲かる農業へ変え、日本の農業を盛り上げます。

高橋 慶彦 < 宮崎県新富町 >



「おてつたび～季節的・短期的な人手不足を人と人との出会いに変える～」
地域の短期的・季節的な人手不足で困る収穫時の農家等と、「知らない地域へ行きたい！」と思う地域外の若者をマッチングする web プラットフォームです。お手伝いを通して地域の方と深い関係ができ、気づいたら自分にとっての特別な地域（＝地域の関係人口）ができている、そんな " 新しい旅 " の形を提案しています。

永岡 里菜 < 東京都世田谷区 >



「飲めば飲むほど海がキレイになるビール」
天橋立の環境課題である「牡蠣殻」を濾過材として使用したクラフトビール醸造に取り組むことで、与謝野町で栽培されているホップの 6 次産業化に取り組みます。牡蠣殻を濾過材として使用することで、天橋立の海洋問題の解決につなげるだけでなく、与謝野町産ホップの 6 次産業化を通じて稼ぐまちづくりに取り組みます。

濱田 祐太 < 京都府与謝野町 >



「規格外野菜を用いた機能性パウダーの開発・販売」
野菜や果物の「色」、「味」、「香り」のほか、腸内フローラを活性化するフラクトオリゴ糖の「機能性」を維持したパウダーを開発・販売し、規格外として廃棄している農作物の活用を広げたいと考えています。農作物の食品ロスを減らし、SDGs にも取り上げられている「持続可能な消費と生産のパターンを確保する」ことが目標です！

平田 竜一 < 熊本県熊本市 >



「農業に特化した労働者支援マッチングプラットフォーム」
シェアグリは最低 1 日単位から月単位の派遣まで、農家の時期や予算に応じて人手不足ニーズを解決します。このプラットフォームでは、働き手側には作業履歴や習得スキルが、農家側には農家の受け入れ環境や待遇の評価が蓄積されていきます。それが両者のインセンティブとなり、生産性の向上や労働環境の改善に役立ちます。

松坂 颯士 < 長野県北佐久郡・南佐久郡 >



「休眠資源を活用した再利用可能なエコラップ」
宮城県丸森町に移住し、地域の休眠資源となっていたミツロウ（蜂の巣から採れるワックス）を使った「ミツロウラップ」を製造販売しています。ミツロウラップは洗って繰り返し使える食品ラップで、サステナブルな商品として海外でも注目されています。人も自然も健全に共存する未来を目指します！

山下 久美 < 宮城県丸森町 >